

第8次青森県保健医療計画の進捗状況に係るロジックモデル（がん対策）

資料1-3

令和6年11月20日  
医療審議会

アウトプット（施策）（A）

番号	項目	策定時	現状値	目標値	
<b>喫煙・受動喫煙防止対策</b>					
A1	禁煙外来設置医療機関数	152 機関	151 機関	増加	
<b>生活習慣の改善やがん検診受診率向上に向けた取組</b>					
A2	健康的な生活習慣やがん検診の意義・必要性等に関する情報提供による理解促進（青森県がん情報サービスへのアクセス件数）	830,676 件/年	297,916 件/年	100 万件	
<b>がん検診の精度管理に係る取組</b>					
A3	精度管理を実施している市町村の割合（国「事業評価のためのチェックリスト」8割以上実施の市町村）	胃がん	85.0%	90.0%	100 %
		大腸がん	85.0%	90.0%	
		肺がん	85.0%	92.5%	
		乳がん	87.5%	90.0%	
		子宮頸がん	87.5%	87.5%	
A4	指針外検診を実施している市町村数	29 市町村	9 市町村	0 市町村	
A5	がん登録データを活用したがん検診精度管理モデル事業参加市町村数	16 市町村	18 市町村	40 市町村	

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>がん医療提供体制の拡充に向けた取組</b>				
A6	がん診療連携拠点病院におけるがん関係認定看護師数	58 人	83 人	増加

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>緩和ケア推進に向けた取組</b>				
A7	緩和ケア研修修了者数	121 人	125 人	増加

初期アウトカム（B）

番号	項目	策定時	現状値	目標値	
<b>生活習慣改善によるがん予防</b>					
B1	成人喫煙率	20.4 %	更新なし	12.0 %	
B2	受動喫煙防止対策（施設内禁煙）を実施している施設の割合	教育・保育施設	99.4%	更新なし	100 %
		医療機関	99.3%	更新なし	
		事業所(50人以上)	60.0%	更新なし	
		事業所(50人未満)	69.1%	更新なし	
B3	野菜と果物の摂取量（20歳以上）	野菜摂取量平均値 279.5g 果物摂取量100g未満 66.0%	更新なし	350g 28.0%	
B4	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合	男性	31.0%	31.5%	26.7%
		女性	20.9%	21.8%	14.4%
B5	運動習慣者の割合（20-64歳）	15.2 %	更新なし	37.0 %	
<b>がんの早期発見</b>					
B6	検診受診率	胃がん 男性	49.6%	更新なし	60.0 %
		胃がん 女性	41.1%	更新なし	
		大腸がん 男性	53.5%	更新なし	
		大腸がん 女性	48.7%	更新なし	
		肺がん 男性	57.0%	更新なし	
		肺がん 女性	53.6%	更新なし	
		乳がん	47.1%	更新なし	
		子宮頸がん	43.6%	更新なし	
B7	市町村がん精密検査受診率	胃がん	80.8%	78.4%	90.0 %
		大腸がん	72.8%	72.4%	
		肺がん	91.2%	87.1%	
		乳がん	92.1%	91.8%	
		子宮頸がん	83.5%	81.4%	

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>がん医療提供体制の充実</b>				
B8	がんに関して専門的な医療を受けられたとする患者の割合	79.5 %	—	90.0 %

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>がん患者の支援</b>				
B9	がん罹患者数1万に対するがん診療連携拠点病院のがん相談支援センターにおける相談件数の比率	0.32	0.24	増加
B10	身体の苦痛や気持ちのつらさを和らげる支援は十分であるとする患者の割合	45.6 %	—	55.0 %

分野アウトカム（C）

番号	項目	策定時	現状値	目標値	
<b>がんの罹患者</b>					
C1	年齢調整罹患率（人口10万対）	胃がん 男性	72.7	62.2	63.4
		胃がん 女性	25.9	21.1	23.1
		大腸がん 男性	93.9	82.1	73.2
		大腸がん 女性	53.6	50.5	44.9
		肺がん 男性	66.9	63.3	61.9
		肺がん 女性	23.9	23.4	26.1
		乳がん	104.5	100.1	100.5
		子宮がん	37.2	36.2	34.3

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>がんによる死亡者</b>				
C2	がんの75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）	84.0	81.4	67.4

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>がんによる苦痛の軽減・療養生活の質</b>				
C3	自分らしい日常生活を送れていると感じている患者の割合	64.9 %	—	70.0 %

（概要説明）

- 改善・変化なし（目標達成）
- 改善（目標未達成）
- 悪化・変化なし（目標未達成）
- 評価困難（※）



※策定時点からデータの更新なし、出典元がなくなった等

- 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合が悪化していることから、引き続き、飲酒等の健康づくりに関する取組を推進する。
- 健康的な生活習慣やがん検診の意義・必要性等に関する情報提供による理解促進を図るために行っている「青森県がん情報サービス」へのアクセス件数の減少が見られることから、利便性の高い運用を行い、県民に対してがんへの正しい知識を広く普及させる必要がある。
- 「科学的根拠に基づくがん検診推進事業」を根幹とした、精検受診率向上のための事業が必要。全市町村が参加することの他、精密検査は2年遅れでの公表となるため、事業評価のためには、ある程度の事業年数が必要である。

第8次青森県保健医療計画の進捗状況に係るロジックモデル（脳卒中対策）

アウトプット（施策）（A）

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>脳卒中の予防や正しい知識、危険因子の改善に関する普及啓発</b>				
A1	県民に対する講演会やSNS、メディア等を活用した普及啓発の実施数（喫煙・飲酒・食塩摂取）	-	年度内達成見込み	各4回以上
A2	高血圧症有病者のうち、服薬していない者の割合	23.7%	24.0%	減少
A3	脂質異常症有病者のうち、服薬していない者の割合	63.6%	50.2%	減少
A4	糖尿病有病者のうち、服薬していない者の割合	33.0%	32.1%	減少
A5	メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合	30.8%	31.1%	20.0%
A6	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合（男性）	31.0%	31.5%	26.7%
A7	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合（女性）	20.9%	21.8%	14.4%
<b>特定健診の受診勧奨、特定保健指導の実施</b>				
A8	特定健診の実施率	51.4%	52.2%	70.0%
A9	特定保健指導の実施率	25.8%	29.0%	45.0%

初期アウトカム（B）

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>脳卒中患者の減少</b>				
B1	脳血管疾患受療率（入院）（人口10万対）	106.0	更新なし	98.0
B2	脳血管疾患受療率（外来）（人口10万対）	63.0	更新なし	59.0

分野アウトカム（C）

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>脳卒中による死亡者の減少</b>				
C1	脳血管疾患の年齢調整死亡率（男性）	116.7	更新なし	93.8
C2	脳血管疾患の年齢調整死亡率（女性）	69.7	更新なし	56.4

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>脳卒中の症状、発症時の対処法の普及啓発</b>				
A10	県民に対する講演会やSNS、メディア等を活用した普及啓発の実施数	-	年度内達成見込み	12回以上
<b>脳卒中の急性期医療に対応できる体制整備</b>				
A11	脳梗塞に対するt-PAによる血栓溶解療法の実施可能な病院数（人口10万対）	0.9	0.9	全国値以上を維持
A12	脳梗塞に対する血栓回収療法の実施可能な医療機関数（人口10万対）	0.7	更新なし	0.8

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>発症後早期に専門的な治療・リハビリテーションを受けることができる体制</b>				
B3	脳梗塞に対するt-PAによる血栓溶解療法の実施件数（SCR）	78.4	更新なし	100.0
B4	脳梗塞に対する脳血管内治療（経皮的脳血栓回収療法等）の実施件数（SCR）	117.4	更新なし	全国値以上を維持

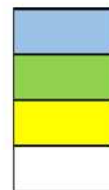
番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>日常生活における脳血管疾患患者の質の高い生活</b>				
C3	健康寿命（男性）	71.73歳	更新なし	74.73歳
C4	健康寿命（女性）	76.05歳	更新なし	79.05歳
C5	在宅等生活の場に復帰した脳血管疾患患者の割合	45.0%	更新なし	55.2%

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>生活機能の維持・向上のためのリハビリテーション支援が提供される体制整備</b>				
A13	脳卒中リハビリテーションが実施可能な医療機関数（人口10万対）	7.4	7.7	全国値以上を維持

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>日常生活への復帰、生活機能維持・向上のためのリハビリテーションを受けることができる体制</b>				
B5	脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施件数（SCR）	89.5	更新なし	100.0

（概要説明）

- 改善・変化なし（目標達成）
- 改善（目標未達成）
- 悪化・変化なし（目標未達成）
- 評価困難（※）



※策定時点からデータの更新なし、出典元がなくなった等

- 肥満に関する目標値が全体的に悪化していることから、肥満対策の取組の強化が必要である。
- 生活習慣病に該当する健診結果にも関わらず服薬していない者の割合は全体的に改善傾向にあるものの、生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合が悪化していることから、県民の適切な受診の促進や望ましい生活習慣の定着促進を目指し、引き続き生活習慣病と脳卒中の関係に関する正しい知識等を広く普及啓発していく必要がある。



第8次青森県保健医療計画の進捗状況に係るロジックモデル（心筋梗塞等の心血管疾患対策）

アウトプット（施策）（A）

番号	項目	策定時	現状値	目標値
心筋梗塞等の心血管疾患の予防や正しい知識、危険因子の改善に関する普及啓発				
A1	県民に対する講演会やSNS、メディア等を活用した普及啓発の実施数（喫煙・飲酒・食塩摂取）	-	年度内達成見込み	各4回以上
A2	高血圧症有病者のうち、服薬していない者の割合	23.7%	24.0%	減少
A3	脂質異常症有病者のうち、服薬していない者の割合	63.6%	50.2%	減少
A4	糖尿病有病者のうち、服薬していない者の割合	33.0%	32.1%	減少
A5	特定検診受診者のうちメタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合	30.8%	31.1%	20.0%
特定健診の受診勧奨、特定保健指導の実施				
A6	特定健診実施率	51.4%	52.2%	70.0%
A7	特定保健指導実施率	25.8%	29.0%	45.0%

番号	項目	策定時	現状値	目標値
急性心筋梗塞等の症状、発症時の対処法の普及啓発				
A8	県民に対する講演会やSNS、メディア等を活用した普及啓発の実施数	-	年度内達成見込み	12回以上
A9	心肺機能停止傷病者全搬送人員のうち、一般市民により除細動が実施された件数	0.7%	0.7%	1.3%
24時間心筋梗塞等の心血管疾患の急性期医療の専門的治療が実施できる体制の整備				
A10	急性心筋梗塞にかかる治療の実施状況（実施病院数）	津軽 3	更新なし	二次保健医療圏毎に1施設以上を維持
		八戸 2	更新なし	
		青森 4	更新なし	
		西北五2	更新なし	
		上十三2	更新なし	
下北 1	更新なし			

番号	項目	策定時	現状値	目標値
心血管疾患リハビリテーションが実施できる体制の整備				
A11	心血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）届出医療機関数（人口10万対）	0.9	1.1	1.2
A12	心血管疾患リハビリテーション料（Ⅱ）届出医療機関数（人口10万対）	0.1	0.1	0.1

初期アウトカム（B）

番号	項目	策定時	現状値	目標値
心筋梗塞等の心血管疾患患者の減少				
B1	虚血性心疾患全体入院（SCR）	83.0	更新なし	100.0以下
B2	虚血性心疾患全体（外来）（SCR）	88.6	更新なし	100.0以下

番号	項目	策定時	現状値	目標値
心筋梗塞等の心血管疾患の疑われる患者が、できるだけ早期に疾患に応じた専門的診療が可能な医療機関に到着し、治療を受けることができる体制				
B3	急性心筋梗塞（ST上昇型心筋梗塞）患者の発症から来院までの時間（中央値）	166分	166分	短縮
B4	PCIを施行された急性心筋梗塞患者のうち、90分以内の冠動脈再開通率（%）	60.1%	68.9%	全国値以上を維持
B5	大動脈疾患患者に対する手術件数（人口10万対）	6.5	9.8	13.3

番号	項目	策定時	現状値	目標値
発症後早期に専門的治療を開始し、心血管疾患リハビリテーションや再発予防の定期的専門的検査				
B6	入院心血管疾患リハビリテーションの実施件数（SCR）	45.8	更新なし	100.0
B7	外来心血管疾患リハビリテーションの実施件数（SCR）	29.7	更新なし	100.0

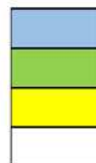
分野アウトカム（C）

番号	項目	策定時	現状値	目標値
心血管疾患による死亡者の減少				
C1	心血管疾患の年齢調整死亡率（男性）	211.3	更新なし	165.5
C2	心血管疾患の年齢調整死亡率（女性）	228.2	更新なし	167.7
C3	虚血性心疾患の年齢調整死亡率（男性）	57.0	更新なし	減少
C4	虚血性心疾患の年齢調整死亡率（女性）	20.8	更新なし	減少
C5	心不全の年齢調整死亡率（男性）	90.1	更新なし	69.0
C6	心不全の年齢調整死亡率（女性）	63.4	更新なし	48.9
C7	大動脈疾患の年齢調整死亡率（男性）	20.2	更新なし	17.3
C8	大動脈疾患の年齢調整死亡率（女性）	12.8	更新なし	10.5

番号	項目	策定時	現状値	目標値
日常生活における心血管疾患患者の質の高い生活				
C9	健康寿命（男性）	71.73	更新なし	74.73
C10	健康寿命（女性）	76.05	更新なし	79.05
C11	在宅等生活の場に復帰した虚血性疾患患者の割合	89.4%	更新なし	増加
C12	在宅等生活の場に復帰した大動脈疾患患者の割合	3.8%	更新なし	増加

（概要説明）

- 改善・変化なし（目標達成）
- 改善（目標未達成）
- 悪化・変化なし（目標未達成）
- 評価困難（※）



※策定時点からデータの更新なし、出典元がなくなった等

- 肥満に関する項目が全体的に悪化していることから、肥満対策の取組の強化が必要である。
- 生活習慣病に該当する健診結果にも関わらず服薬していない者の割合は全体的に改善傾向にあるものの、依然として服薬していない者の割合は多い状態であることから、有病者が自らの症状を服薬によりコントロールすることにより、心血管疾患等への発展を抑制することを目的として有病者に対する服薬に関する知識の普及啓発に取り組む必要がある。また、有病者をはじめとする全県民に対する適切な受診の促進や望ましい生活習慣の定着に向けた働きかけが必要である。



第8次青森県保健医療計画の進捗状況に係るロジックモデル（糖尿病対策）

アウトプット（施策）（A）

番号	項目	策定時	現状値	目標値	
第三次青森県健康増進計画と整合のとれた糖尿病予防対策の推進					
A1	適正体重を維持している者の増加（20～60歳男性、40～60歳女性の肥満者の割合）	男性	41.5%	—	34.0%
		女性	34.6%	—	19.0%
A2	肥満傾向にある子どもの割合の減少	17.0%	—	10.0%	
A3	メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合の減少	30.8%	31.1%	20.0%	
A4	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合	男性	31.0%	31.5%	26.7%
		女性	20.9%	21.8%	14.4%
A5	特定健康診査の実施率	51.4%	52.2%	70.0%	
A6	特定保健指導の実施率	25.8%	29.0%	45.0%	
糖尿病性腎症重症化予防プログラムの実施					
A7	糖尿病の未治療者・治療中断者を抽出し、受診勧奨を実施する市町村の数	37	39	40	

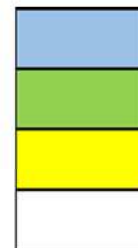
初期アウトカム（B）

番号	項目	策定時	現状値	目標値	
糖尿病発症予防					
B1	糖尿病と診断された者の割合の減少	16.5%	—	14.4%	
B2	糖尿病である者の割合の減少	男性	16.7%	16.8%	13.0%
		女性	8.5%	8.5%	6.0%
治療が必要な患者の適切な受診					
B3	糖尿病と診断された者で通院なしの割合の減少	30.2%	—	22.8%	
B4	糖尿病性腎症による新規透析導入患者数（人口10万対）	15.6	15.4	12.4	

分野アウトカム（C）

番号	項目	策定時	現状値	目標値	
糖尿病による死亡数の減少					
C1	糖尿病の年齢調整死亡率	男性	18.9	—	13.9
		女性	8.8	—	6.9

- 改善・変化なし（目標達成）
- 改善（目標未達成）
- 悪化・変化なし（目標未達成）
- 評価困難（※）



（概要説明）

- 肥満に関する目標値が全体的に悪化していることから、肥満対策の取組の強化が必要である。
- 糖尿病である者の割合や生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者の割合が悪化していることから、県民の適切な受診の促進や望ましい生活習慣の定着促進を目指し、引き続き糖尿病に関する正しい知識等を広く普及啓発していく必要がある。

※策定時点からデータの更新なし、出典元がなくなった等



第8次青森県保健医療計画の進捗状況に係るロジックモデル（精神疾患対策）

アウトプット（施策）（A）

番号	項目	策定時	現状値	目標値
医療機関の役割分担や相互連携の強化				
A1	精神医療提供体制構築のための検討会開催	-	0 回/年	1 回/年

番号	項目	策定時	現状値	目標値
認知症患者の早期発見体制の構築				
A2	県内医療機関や関係機関に対する認知症サポート医養成研修の周知回数	2 回/年	2 回/年	3 回/年

番号	項目	策定時	現状値	目標値
精神科訪問看護の利用促進				
A3	精神科訪問看護の利用者数	1,840 人	1,817 人	2,040 人

番号	項目	策定時	現状値	目標値
医療機関以外の相談機関による支援の充実				
A4	精神保健福祉相談件数（青森県立精神保健福祉センター及び保健所）	3,503 件	4,108 件	3,600 件
A5	SNS相談件数	120 件	366 件	600 件
A6	オンラインカウンセリング件数	-	更新なし	250 件

番号	項目	策定時	現状値	目標値
精神疾患患者の地域移行推進体制の構築				
A7	市町村における地域移行のための「協議の場」の設置	20 市町村	21 市町村	40 市町村

初期アウトカム（B）

番号	項目	策定時	現状値	目標値
医療機関以外の相談機関を含めた社会資源の適切な役割分担				
B1	初診待ち1か月以内の医療機関の割合	60.1 %	更新なし	80.0 %
B2	精神科救急で入院に至った者	266 人	320 人	246 人

番号	項目	策定時	現状値	目標値
認知症患者の早期発見体制の構築				
B3	認知症サポート医数	132 人	144 人	185 人

番号	項目	策定時	現状値	目標値
精神疾患患者の地域移行推進体制の構築				
B4	地域移行支援事業の活用の促進	18 人	更新なし	48 人
B5	地域定着支援事業の活用の促進	35 人	更新なし	67 人

分野アウトカム（C）

番号	項目	策定時	現状値	目標値	
医療機関以外の相談機関を含めた社会資源の適切な役割分担と地域移行推進体制の構築					
C1	精神病床における入院後3、6、12ヶ月時点の退院率	3ヶ月	60.9%	63.2%	68.9%
		6ヶ月	78.3%	78.4%	84.5%
		12ヶ月	87.9%	89.1%	91.0%
C2	精神病床における慢性期入院患者数	65歳未満	638人	579人	596人
		65歳以上	1,295人	1,189人	1,026人
C3	精神障害者の精神病床からの退院後1年以内の地域での平均生活日数	319.7 日	321.4 日	325.3 日	

（概要説明）

改善・変化なし（目標達成）

改善（目標未達成）

悪化・変化なし（目標未達成）

評価困難（※）

※策定時点からデータの更新なし、出典元がなくなった等

（障がい福祉課分）  
 ・令和6年度（4月～9月）の主な取組及び成果について、これまで継続的に実施してきた精神障害や自殺対策の相談は県民への周知が図られており、件数の増加している。一方、8次計画で新たな目標とした項目は、下半期からの開始に向けた準備や関係機関との調整を行った。  
 ・課題について、本県の医療資源は十分でないことや、マンパワー不足の市町村もあること。  
 ・今後の取組の方向性（取組方法の修正等）について、今後も当初の取組の方向性を基本とし、目標達成のために医療機関のほか市町村や職能団体、民間事業者とも協力していく。

（高齢福祉保険課分）  
 ・令和6年度（4月～9月）の主な取組としては、医師会、医療機関、市町村等へ2回周知し、12名の医師が受講予定となっている。  
 ・課題としては、サポート医養成研修を修了したものの、活動につながっていない実態があることやサポート医の活動状況を把握できていないことが挙げられる。  
 ・今後の取組の方向性（取組方法の修正等）としては、養成研修の周知を継続するとともに、研修を通してサポート医による地域支援の強化を図り、さらに、イベント等でサポート医の活用を図っていくこととする。



第8次青森県保健医療計画の進捗状況に係るロジックモデル（救急医療対策）

アウトプット（施策）（A）

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>住民に対する救急蘇生法、予防救急等の普及啓発の実施</b>				
A1	住民の救急蘇生法講習の受講者数（人口1万対）	43.2 人	43.3 人	増加
<b>適切な病院前救護の実施</b>				
A2	常時救急救命士を運用している救急隊の割合	90.7 %	90.7 %	93.2 %

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>初期救急医療体制の整備</b>				
A3	一般診療所の初期救急医療への参画率	14.4 %	更新 なし	増加

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>二次救急医療体制の整備</b>				
A4	二次救急医療機関の応需率	88.8 %	更新 なし	増加

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>三次救急医療体制の整備</b>				
A5	救急担当専任医師数（1センター当たり）	14.0 人	13.0 人	維持
A6	救急担当専任看護師数（1センター当たり）	56.0 人	58.0 人	維持

初期アウトカム（B）

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>病院前救護の適切な実施と速やかな搬送</b>				
B1	心肺機能停止傷病者全搬送人員のうち、一般市民により除細動が実施された件数	0.7 %	0.7 %	1.3 %
B2	救急要請（覚知）から救急医療機関へ収容するまでに要した平均時間	40.9 分	44.0 分	減少
B3	救急出動件数に占める軽症者の割合	39.7 %	41.5 %	減少

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>診療の空白時間なく、地域で受けられる初期救急医療</b>				
B4	休日・夜間において初期救急医療機関を受診した傷病者の割合	19.9 %	更新 なし	増加

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>入院治療を要する重症患者に対する適切な医療</b>				
B5	重症以上傷病者において、医療機関に4回以上受入の照会を行った割合（受入困難事例）	1.0 %	0.9 %	減少

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>重篤な救急患者に対する適切な医療</b>				
B6	救命救急センターの応需率	94.5 %	94.3 %	増加

分野アウトカム（C）

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>救急患者の生存率の向上</b>				
C1	一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者の1か月後生存率	9.0 %	8.8 %	12.7 %

改善・変化なし（目標達成）

改善（目標未達成）

悪化・変化なし（目標未達成）

評価困難（※）

※策定時点からデータの更新なし、出典元がなくなった等

（概要説明）

令和6年度前期（4月～9月）の主な取組としては、市町村に対し救命講習会に関する普及啓発を行っている。主な課題としては、救急出動件数に占める軽症者の割合が増加傾向が挙げられる。これに対しては、県が実施している救急電話相談体制に関する県民への周知強化により、医療機関の適正受診及び救急車の適正利用を図る。今後の取組みの方向性については、引き続き各種取組により、初期、入院、救命医療に係る連携体制の維持を図る。



第8次青森県保健医療計画の進捗状況に係るロジックモデル（災害医療対策）

アウトプット（施策）（A）

番号	項目	策定時	現状値	目標値
災害医療の中心的役割を担うことが可能な体制の整備				
A1	業務継続計画（BCP）に基づき、被災した状況を想定した訓練を実施した病院数	6 病院	6 病院	10 病院 (全病院)
DMAT養成研修の受講				
A2	DMAT養成研修受講者数	14 人/年	更新なし	16 人/年 (4人増)

番号	項目	策定時	現状値	目標値
EMISに関する研修・訓練の実施				
A3	広域災害・救急医療情報システム（EMIS）への登録率	98.9 %	100 %	100 %
A4	EMISの操作を含む研修・訓練の実施回数	2 回/年	7 回/年	12 回/年
業務継続計画（BCP）に関する研修の受講				
A5	業務継続計画（BCP）策定研修に参加した病院数	8 病院/年	14 病院/年	10 病院/年

番号	項目	策定時	現状値	目標値
二次医療圏でのコーディネート機能の確認を行う災害訓練・研修の実施				
A6	保健所管轄区域等で地域災害医療対策協議会のコーディネート機能の確認を行う災害訓練の実施回数	5 回/年	0 回/年	6 回/年 (各保健所で1回)
A7	県災害医療コーディネート研修実施回数	1 回/年	1 回/年	1 回/年
災害時の医療チーム等の受入を想定し、関係機関との連携の確認を行う訓練の実施				
A8	関係機関との訓練等の実施回数(県総合防災訓練、災害対策図上訓練、健康福祉部図上訓練等)	1 回/年	5 回/年	3 回/年
広域医療搬送を想定した災害訓練の実施				
A9	広域医療搬送を想定した訓練（SCUを設置する実動・図上訓練等）実施回数	1 回/年	2 回/年	2 回/年

初期アウトカム（B）

番号	項目	策定時	現状値	目標値
災害医療の中心的役割を担うことが可能な体制の整備				
B1	業務継続計画（BCP）に基づき、被災した状況を想定した訓練を実施した病院数	6 病院	6 病院	10 病院 (全病院)
自己完結型のDMAT等の派遣機能の整備				
B2	DMATチーム数	24 チーム	24 チーム	28 チーム

番号	項目	策定時	現状値	目標値
被災情報を被災地内に発信できる体制の整備				
B3	EMISの操作訓練での入力率	83.3 %	95.5 %	100 %
被災後早急に診療機能を回復できる体制の整備				
B4	災害時に拠点となる病院以外の病院のBCP策定数	29.9 %	48.0 %	100 %

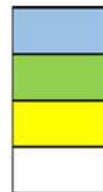
番号	項目	策定時	現状値	目標値
地域コーディネート体制の整備				
B5	保健所管轄区域等で地域災害医療対策協議会のコーディネート機能の確認を行う災害訓練の参加機関数(地域災害医療対策協議会の構成機関総数)	0 %	0 %	100 %/3年
災害時に関係機関と迅速な連携が取れる体制の整備				
B6	関係機関との訓練等の参加機関数（延べ数）	74 機関	232 機関	149 機関

分野アウトカム（C）

番号	項目	策定時	現状値	目標値
災害時においても必要な医療が確保される体制の構築				
C1	初期アウトカムの達成率	-	1/6	6/6
C2	病院の災害発生時におけるEMISモード切替後3時間以内のEMIS入力率	-	評価困難	80 %

（概要説明）

- 改善・変化なし（目標達成）
- 改善（目標未達成）
- 悪化・変化なし（目標未達成）
- 評価困難（※）



※策定時点からデータの更新なし、出典元がなくなった等

令和6年度（4月～9月）の主な取組としては、各種訓練の実施や研修受講に向けた準備等を進めている。  
 主な課題としては、災害時における関係機関との連携体制の強化やDMAT隊員などの人材の育成・確保などがある。  
 今後の取組の方向性については、関係機関との訓練やDMAT隊員増加に向けた取組を継続していくことで、災害医療体制の強化を図る。



第8次青森県保健医療計画の進捗状況に係るロジックモデル（新興感染症発生・まん延時における医療対策）

アウトプット（施策）（A）

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>新興感染症に係る医療提供体制の構築</b>				
A1	協定締結医療機関数（病床）	-	95	87 機関
A2	協定締結医療機関数（外来） 流行初期	-	126	232 機関
A3	協定締結医療機関数（外来） 流行初期以降	-	163	393 機関
A4	協定締結医療機関数（在宅療養） 病院・診療所	-	105	105 機関
A5	協定締結医療機関数（在宅療養） 薬局	-	436	294 機関
A6	協定締結医療機関数（在宅療養） 訪問看護事業所	-	40	61 か所
A7	協定締結医療機関数（後方支援）	-	91	97 機関
A8	協定締結医療機関数（人材派遣）	-	23	34 機関

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>感染症対応人材の育成</b>				
A9	県主催の感染対策研修（基本）の実施回数	年1回	1	年1回以上
A10	県主催の感染対策研修（専門）の実施回数	年1回	1	年1回以上

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>施設内感染対策の促進</b>				
A11	青森県感染対策コンサルテーションチームによる支援（助言・指導）回数	年8回	3	年72回
A12	県主催の訓練に参加する医療機関等の割合	-	5.7	年33%以上
A13	医療機関等での訓練実施に向けた個別指導回数	-	0	年36回
A14	国による財政支援を活用して、感染症医療を実施するための設備等整備を行った協定締結医療機関数	-	36	200 機関
A15	協定締結医療機関のうち、個人防護具5品目を、使用量2か月分以上備蓄する医療機関の割合	-	69.9	80%以上

初期アウトカム（B）

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>病床の確保</b>				
B1	確保病床（一般）：流行初期	-	253	239 床
B2	確保病床（一般）：流行初期以降	-	607	607 床
B3	確保病床（精神）：流行初期	-	48	60 床
B4	確保病床（精神）：流行初期以降	-	56	70 床
<b>外来医療を担う医療機関の確保</b>				
B5	協定締結医療機関数：流行初期	-	126	232 機関
B6	協定締結医療機関数：流行初期以降	-	163	393 機関
<b>在宅療養者等への医療の提供を担う医療機関の確保</b>				
B7	協定締結医療機関数（病院・診療所）	-	105	105 機関
B8	協定締結医療機関数（薬局）	-	436	294 機関
B9	協定締結医療機関数（訪問看護事業所）	-	40	61 か所
<b>後方支援を担う医療機関の確保</b>				
B10	協定締結医療機関数	-	91	97 機関
<b>派遣可能な医師・看護師の確保</b>				
B11	医療措置協定による派遣可能な医師数	-	16	25 人
B12	医療措置協定による派遣可能な看護師数	-	55	72 人

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>医療従事者等の資質向上</b>				
B13	県主催の感染対策研修修了者数（基本）	95	95	年200 人
B14	県主催の感染対策研修修了者数（専門）	40	60	年100 人
<b>協定締結医療機関における感染症対応力の向上</b>				
B15	協定締結医療機関のうち、自院での訓練実施または県等が主催する研修等に自院の医療従事者を参加させている割合	-	100	100% %
B16	協定締結医療機関のうち、個人防護具5品目を、使用量2か月分以上備蓄する医療機関の割合	-	69.9	80% %以上

分野アウトカム（C）

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>新興感染症の発生・まん延時に、感染症患者の病状等に応じた適切な療養先の振り分けや入院調整ができること</b>				
C1	アウトカム指標なし（平時に測定不可能）	-	-	-
<b>新興感染症の発生・まん延時に、有症状者等が身近な医療機関を速やかに受診し、適切な医療を受けられること</b>				
C2	アウトカム指標なし（平時に測定不可能）	-	-	-

（概要説明）

1 医療措置協定関係

令和6年度（4月～9月）の主な取組及び成果：医療機関（病院、診療所、薬局及び訪問看護事業所）に加え、民間検査機関や宿泊施設との医療等措置協定の協議及び協定締結を行い、概ね目標達成できた。

課題：（1）発熱外来（2）人材派遣であり、引き続き協定（措置確保）の積み上げを継続する。

2 県主催の感染対策研修等

令和6年度（4～9月）の主な取組及び成果：青森県感染対策研修会（AICON）東青地域支部と連携して研修を実施（基本、専門）。また、感染対策に係る専門家（コンサルテーションチーム）の派遣事業を実施した。

課題：研修会の開催（回数及び参加機関数）、修了者の人数が目標値に届いていないことから、AICONや関係部署・機関と連携の上、対象機関への周知を行う。また、平時からの感染対策の向上と新興感染症へ対応できる人材を養成するため、感染対策特別研修会（集合研修及び個別研修）を開催することとしている。

改善・変化なし（目標達成）

改善（目標未達成）

悪化・変化なし（目標未達成）

評価困難（※）

※策定時点からデータの更新なし、出典元がなくなった等



第8次青森県保健医療計画の進捗状況に係るロジックモデル（へき地医療対策）

アウトプット（施策）（A）

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>医療を確保する体制</b>				
A1	へき地診療所の医師数（常勤及び非常勤常勤換算）	11.23 人	16.18 人	現状維持
A2	へき地医療拠点病院に勤務する医師のうち、へき地医療を行っている医師数（常勤及び非常勤常勤換算）	23.88 人	17.84 人	現状維持

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>診療を支援する体制</b>				
A3	へき地医療拠点病院からの巡回診療の実施回数	117 回/年	105 回/年	現状維持
A4	へき地医療拠点病院からの医師派遣回数	119 回/年	121 回/年	現状維持
A5	主要3事業（巡回診療、医師派遣、代診医派遣）の年間実績が合算で12回以上のへき地医療拠点病院の割合	71.4 %	100 %	100 %
A6	ICTによる診療支援を実施したへき地医療拠点病院の割合	16.67 %	33.33 %	100 %
A7	へき地患者輸送事業の実施無医地区等数	18 か所	24 か所	現状維持

初期アウトカム（B）

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>医療を確保する体制</b>				
B1	へき地診療所の医師数（常勤及び非常勤常勤換算）	11.23 人	16.18 人	現状維持
B2	へき地医療拠点病院に勤務する医師のうち、へき地医療を行っている医師数（常勤及び非常勤常勤換算）	23.88 人	17.84 人	現状維持

分野アウトカム（C）

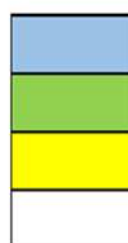
番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>へき地医療提供体制の確保</b>				
C1	医療を受けられる機会が確保されている無医地区等の割合（医療薬務課調べ）	100 %	100 %	100 %

改善・変化なし（目標達成）

改善（目標未達成）

悪化・変化なし（目標未達成）

評価困難（※）



（概要説明）

○限られた医療資源で、より効果的に地域の医療ニーズに応えられるよう、これまでの取組を可能な限り継続していくとともに、ICTを活用した遠隔医療の実施など、関係機関が連携し、地域の実情に合った持続可能な医療体制を構築する。

※策定時点からデータの更新なし、出典元がなくなった等



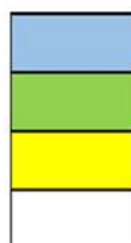
第8次青森県保健医療計画の進捗状況に係るロジックモデル（周産期医療対策）

アウトプット（施策）（A）

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>搬送体制の充実</b>				
A1	救急隊員に対する周産期救命研修実施件数	3件 (R4)	3件 (R5)	現状維持

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>周産期医療従事者の確保</b>				
A2	分娩取扱施設に勤務する産科医及び産婦人科医総数（一般診療所+病院）（常勤換算）（15-49歳女性10万対）	37.8人 (全国35.7) (R2)	更新なし	増加
A3	助産師数（一般診療所+病院）（15-49歳女性10万対）	93.4人 (全国100.4) (R2)	更新なし	全国平均値以上

改善・変化なし（目標達成）  
 改善（目標未達成）  
 悪化・変化なし（目標未達成）  
 評価困難（※）



※策定時点からデータの更新なし、出典元がなくなった等

初期アウトカム（B）

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>搬送体制の充実</b>				
B1	救急隊員のうち、5年以内に周産期救命研修を受講した隊員の割合	4.4% (H30~R4)	4.9% (R元~R5)	増加

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>周産期医療従事者の確保</b>				
B2	日本周産期・新生児医学会専門医数（新生児専門医）（15-49歳女性10万対）	2.4人 (全国4.3) (R4)	2.0人 (全国4.5) (R5)	全国平均値以上
B3	日本周産期・新生児医学会専門医数（母体・胎児専門医）（15-49歳女性10万対）	3.8人 (全国5.7) (R4)	4.4人 (全国6.2) (R5)	全国平均値以上
B4	アドバンス助産師数（15-49歳女性10万対）	45.3人 (全国36.7) (R4)	52.0人 (全国41.0) (R5)	増加
B5	新生児集中ケア認定看護師数（15-49歳女性10万対）	1.4人 (全国1.7) (R4)	1.5人 (全国1.7) (R5)	全国平均値以上

（概要説明）

令和6年度（4月～9月）の主な取組及び成果については、現在各事業を実施し取組を進めているところであり、まだ成果は認識できていない。  
 課題については、周産期医療体制の構築における搬送体制の充実や周産期医療従事者の確保であり、現在取組を継続している。  
 今後の取組の方向性（取組方法の修正等）について、修正等は行わないが、統計値の公表等により状況の変化があった場合は、随時検討する。

分野アウトカム（C）

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>周産期医療体制の構築</b>				
C1	周産期死亡率	3.2 (全国3.3) (R4)	2.5 (全国3.3) (R5)	全国水準の維持



第8次青森県保健医療計画の進捗状況に係るロジックモデル（小児医療対策（小児救急医療を含む））

**アウトプット（施策）（A）**

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>小児救急に係る普及啓発、相談支援の推進</b>				
A1	子ども医療電話相談の応答率	68.5 % (R4)	91.9 % (R6.4~7)	90.0 %

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>小児医療・救急連携体制の構築</b>				
A2	小児科医師数（小児人口1万人あたり）	10.9 人 (R2) (全国11.7人) 【参考】小児科医師数 青森県 145人 (R2)	11.4 人 (R4) (全国12.3人) 【参考】小児科医師数 青森県 140人 (R4)	全国平均 値以上
A3	小児救急搬送症例のうち、医療機関に受入の照会を行った回数 が3回以上の件数（小児人口1 万人あたり）	3.1 件 (R3)	4.9 件 (R4)	減少

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>療養、療育支援が可能な体制の確保</b>				
A4	小児の訪問看護を実施している 訪問看護事業所数	48 施設 (R4)	50 施設 (R6.5.1)	増加

**初期アウトカム（B）**

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>小児救急に係る普及啓発、相談支援の推進</b>				
B1	【同左】子ども医療電話相談の 応答率	68.5 % (R4)	91.9 % (R6.4~7)	90.0 %

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>小児医療・救急連携体制の構築</b>				
B2	【同左】小児科医師数（小児人 口1万人あたり）	10.9 人 (R2) (全国11.7人) 【参考】小児科医師数 青森県 145人 (R2)	11.4 人 (R4) (全国12.3人) 【参考】小児科医師数 青森県 140人 (R4)	全国平均 値以上
B3	【同左】小児救急搬送症例のう ち、医療機関に受入の照会を 行った回数3回以上の件数 （小児人口1万人あたり）	3.1 件 (R3)	4.9 件 (R4)	減少

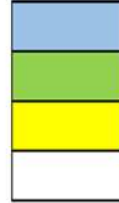
番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>療養、療育支援が可能な体制の確保</b>				
B4	訪問看護事業所に対応可能な医 療的ケア児数	56 人 (R4)	80 人 (R5)	本県の医療 的ケア児数 を目指した 増加

**分野アウトカム（C）**

番号	項目	策定時	現状値	目標値
<b>小児医療体制の構築</b>				
C1	18歳未満の救急搬送における 軽症者の割合	72.0 % (R3)	73.5 % (R4)	減少
C2	乳児死亡率	1.5 人 (R4) (全国1.8人)	2.1 人 (R5) (全国1.8人)	全国水準 の維持

（概要説明）

- 改善・変化なし（目標達成）
- 改善（目標未達成）
- 悪化・変化なし（目標未達成）
- 評価困難（※）



※策定時点からデータの更新なし、出典元がなくなった等

令和6年度前期（R6.4-9）の主な取組については、現在進めているところであり、成果はまだ把握できない状況にある。  
小児科医師数が全国平均値を下回っているため、引き続き、小児医療に携わる医師の確保に向けた取組の実施、検討が必要である。  
今後の取組の方向性としては、現在の取組を継続するとともに、統計値の公表等により状況の変化があった場合は、随時検討する。



第8次青森県保健医療計画の進捗状況に係るロジックモデル（在宅医療対策）

**アウトプット（施策）（A）**

番号	項目	策定時	現状値	目標値
A1	退院支援に関する研修の参加者数	10 人/年 (R4)	13 人/年 (R5)	20 人/年

番号	項目	策定時	現状値	目標値
A2	在宅医療専門研修の参加者数	291 人/年 (R4)	439 人/年 (R5)	312 人/年

番号	項目	策定時	現状値	目標値
A3	訪問看護研修会の参加者数	45 人/年 (R4)	80 人/年 (R5)	51 人/年

番号	項目	策定時	現状値	目標値
A4	在宅医療施設設備整備支援件数	6 件/年 (R4)	5 件/年 (R5)	8 件/年

番号	項目	策定時	現状値	目標値
A5	看取りに関する研修会の参加者数	100 人/年 (R4)	150 人/年 (R5)	112 人/年

**初期アウトカム（B）**

番号	項目	策定時	現状値	目標値
B1	退院支援担当者を配置している医療機関数	44 か所 (R2)	44 か所 (R2)	60 か所

番号	項目	策定時	現状値	目標値
B2	訪問診療を実施している診療所・病院数	173 か所 (R2)	173 か所 (R2)	185 か所

番号	項目	策定時	現状値	目標値
B3	訪問看護ステーション従事者数	864 人 (R3)	907 人 (R4)	967 人

番号	項目	策定時	現状値	目標値
B4	往診を実施している診療所・病院数	201 か所 (R3)	202 か所 (R4)	215 か所

番号	項目	策定時	現状値	目標値
B5	在宅療養後方支援病院が設置されている圏域の数	5 圏域 (R5)	5 圏域 (R6)	6 圏域

番号	項目	策定時	現状値	目標値
B6	24時間体制を取っている訪問看護ステーション従事者数	805 人 (R3)	845 人 (R4)	901 人

番号	項目	策定時	現状値	目標値
B7-1	在宅看取り（ターミナルケア）を実施している診療所・病院数	45 か所 (R3)	52 か所 (R4)	50 か所

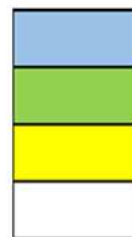
番号	項目	策定時	現状値	目標値
B7-2	ターミナルケアを実施している訪問看護ステーション数	120 か所 (R3)	119 か所 (R4)	134 か所

**分野アウトカム（C）**

番号	項目	策定時	現状値	目標値
C1	訪問診療を受けた患者数（レセプト件数）	59,559 件 (R3)	62,835 件 (R4)	63,817 件
C2	訪問看護利用者数（レセプト件数）	32,525 件 (R3)	34,292 件 (R4)	36,295 件

番号	項目	策定時	現状値	目標値
C3	在宅ターミナルケアを受けた患者数（レセプト件数）	1,019 件 (R3)	1,243 件 (R4)	1,140 件
C4	看取り数（死亡診断のみの場合を含む）（レセプト件数）	2,230 件 (R3)	2,600 件 (R4)	2,495 件

- 改善・変化なし（目標達成）
- 改善（目標未達成）
- 悪化・変化なし（目標未達成）
- 評価困難（※）



（概要説明）

令和6年度（4月～9月）の主な取組及び成果については、現在各事業を実施し取組を進めているところであり、まだ成果は認識できていない。在宅医療の需要が増加しており、在宅医療のサービス量の確保や看取りの体制整備が課題であり、現在取組を継続している。今後の取組の方向性（取組方法の修正等）について、修正等は行わないが、統計値の公表等により状況の変化があった場合は、随時検討する。

※策定時点からデータの更新なし、出典元がなくなった等